

## 事業の背景・概要

- 市全体の被害金額のうちシカ・サルの被害は約6割を占めている。
- 毎年、稲、野菜を中心にシカ・サルによる農作物被害が頻発しており、農家の生産意欲の低下が問題となっている。
- この状況を踏まえ、生息状況調査や罠の設置、放任果樹の除去など、複合的に対策を実施し、被害の軽減を図っている。
- この対策は、平成24年度より補助金を活用している。

## 取組内容

### 1 生息状況調査を踏まえた罠の設置

- ①毎年度、シカ・サルの生息状況調査を実施  
⇒ 補助金(有害捕獲)を充当
- ②「①」の結果を踏まえた罠の設置  
⇒ 罠の購入費に補助金(有害捕獲)を充当



(生息状況調査:  
GPS取付)



(生息状況調査:  
センサーカメラ)

### 2 放任果樹の剪定、伐採と追い払い活動

- ①鳥獣が出没する地域において、鳥獣の誘引物となる放任果樹の剪定、伐採  
⇒ 補助金(生息環境管理)を充当
- ②サルの追い払いパトロールの実施  
⇒ 補助金(被害防除)を充当



(放任果樹の  
剪定、伐採)



(煙火による  
追い払い)

## 成果

### ○ 生息状況調査によるシカ・サルの効果的な捕獲

- ・毎年、生息状況調査を実施することにより、シカ・サルの現時点の行動圏と前年の被害防止対策の効果を把握
- ・生息状況調査の結果、判明した現時点の行動圏と被害防止対策の効果の分析を踏まえた適切な位置への罠の設置により捕獲数が増加し、被害が減少している。

### ○ 放任果樹の剪定、伐採と追い払い活動による鳥獣の集落への出沒頻度の低下

- ・鳥獣にとってエサ場となり農地・住宅地への誘因物となる放任果樹の剪定、伐採とサルの追い払いパトロールの継続的な実施により、鳥獣の出現頻度が低下し、被害が減少している。